

事業名	障害福祉諸費		
細事業名	障害者文化展開催費	財務コード	080403
担当部課室	福祉保健 部 障害福祉 課 地域生活支援 担当 (内線)	3219	

調書番号	33
------	----

事業の概要

実施期間	始期 H10 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(委託)		
目的	だれ(何)を対象に 障害者	その対象をどのような状態にして 社会参加意識が向上している	結果、何に結びつけるのか 障害者の自立と社会参加の促進
	事業概要 障害者文化展開催事業の実施 ・委託先:(福)山梨県障害者福祉協会 ・障害者文化展の開催(毎年9月上旬頃 5日間 山交百貨店5階催事場) 絵画、手芸、工芸、写真、書道等の作品を展示 ・優秀作品の表彰(最優秀賞、優秀賞、奨励賞、ふれあい賞、特別賞)		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活動指標	文化展出演作品数	目標	1,150	1,150	1,150	1,150	1,150	1,150
		実績(見込)	1,120	1,118	1,165	1,148	1,157	1,150
		達成率	97.4	97.2	101.3	99.8	100.6	
		達成区分	b	b	b	b	b	
成果指標	文化展出演参加者数	目標	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
		実績(見込)	2,236	2,418	2,478	2,400	2,246	2,400
		達成率	93.2	100.8	103.3	100.0	93.6	
		達成区分	b	b	b	b	b	
決算(予算) 単位:千円		614	614	614	584	584	584	584

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価	概ね、想定している出演参加者数が確保されており、成果を上げている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	文化展の出演参加者数の確保とともに、もう一つの成果である来場者の確保について成果向上の可能性がある。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他(障害者の理解促進を図るためには、会場に一般県民の誘客が必要であり、周知をさらに進める必要がある)		
その他	説明			
見直しの必要性	有	本事業への来場者を増やすため、事業実施にあたって周知手法を再点検し、さらなる誘客が図れるよう、具体的な方策を検討する必要がある。		

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	本事業への来場者を増やすため、事業実施にあたって周知手法を再点検し、さらなる誘客が図れるよう、仕様書に具体的な方策を記すなど、委託方法等を見直す。
----------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。